

2010 年度最初の PAM 研修通信です。

当社は、特定加算事業者としてサービスの質が高い基準を維持向上するために、ヘルパーの皆様には年 1 回以上研修を受講頂くことが必須です。

2010 年度は、継続して皆様が興味関心のあるテーマを中心に企画することに加え、昨年度の反省をいかして、新たな研修形態も導入予定です。

早い段階で年 1 回以上の受講要件を満たして下さい。よろしくお願いします。

[これまでの研修報告]

「調理実習（簡単！お手軽！家事援助）＆食中毒の予防と蔓延の防止」（8 月）

町田ヒューマンネットワークの石塚さん（調理師）による実演を 1 時間見させて頂いた後に、グループに分かれて冷し中華と羽根付海老餃子をつくりました。

実演では、具材の千切りと微塵切りのコツを教わりました。実際の調理では、個々人やグループのレベルに合わせて、タレの作り方、餃子の包み方・炒め方も教わりました。最後にみんなで試食してそれぞれの味付けの違いを体験しました。

次回も楽しくやりたいですね！

「介護技術研修(日)ベッドの正しい使い方、起居動作介助」（8 月）

研修等を通じて当社ヘルパーの皆さんも腰痛で悩んでいることを耳にします。

パラマウントベッド株式会社が介護・看護職を対象に実施した 2 年前の調査によると、「職員の 58% の人が現在腰痛を抱え、また現在の業務についてからこれまでに腰痛の経験がある人は 88% に上る」そうです。

そこで 2010 年度は「腰痛予防」の発生させない！悪化させない！ための介護技術研修を企画していきたいと思えます。

その第 1 回が介護技術研修(日)でした。電動ベッドの正しい使い方を知らないと、利用者さんの姿勢が下部にズレ落ち、結果として体位の上方修正をしなければいけません。それを繰り返すと介助者の腰痛発生だけでなく、利用者さんの床ずれ発生の要因にもなります。

まずは、正しい使い方を身につけて頂ければと思います。今回ベッドを貸してくれたシーホネンス株式会社の下記 URL には参考になる情報が満載なので、是非、ご覧下さい。

<http://www.seahonence.co.jp/support/use.html>

「介護技術研修(月)安全な移乗方法と腰痛予防」（9 月）

そして第 2 回の介護技術研修(月)は、当社ベテランヘルパーの中山さんに講師をして頂き、

ほぼマンツーマンのきめ細かな指導をして頂きました。この研修を通じて、ヘルパーの皆さんが基本的な技術を再確認し、安全な移乗介助を試みようと考え直すいいきっかけになったようでした。

[今後の研修のご案内]

「介護技術研修(火)安全な移乗方法・電動リフトの使い方」

日時：2010年10月18日(月)14時～16時予定

場所：安藤社長宅

講師：安藤信哉(当社取締役、重度訪問介護養成研修講師他)

小田嶋陽子さん(介護福祉士、重度訪問介護養成研修講師)

内容：脊髄損傷・頸椎損傷等の方で電動リフトを使用する場合を想定した実技研修です。

募集人数：先着5名

参考URL：リフト関連企業連絡会でリフトの正しい使い方等が案内されています。

http://www.jaspa.gr.jp/lift_consortium/

(PAM認定外部研修のご案内)

「第37回 国際福祉機器展(HCR)見学」

期間：2010年9月29日(水)～10月1日(金) 福祉用具の日

場所：東京ビッグサイト東展示ホール(有明)

内容：日本最大級の福祉用具展示会を見学し、多種多様な福祉用具に見て触れて特徴を学ぶ

参考URL <http://www.hcr.or.jp/>

研修費：見学開始時間から最大3時間までの研修費と交通費をお支払いします。

研修受付と感想文用紙の記入についての確認があるので、必ず事前に研修担当の木村までご連絡下さい。

諸注意：会場は非常に広いので歩きやすい靴、動きやすい格好で行くと疲れが軽減され、様々な福祉用具を体感しやすいかと思えます。また、予めホームページ等で情報収集し、目的を持って臨んで下さい。

宣伝：じょくそう予防研修講師で協力頂いた株式会社モルテンさん、介護技術研修でベッドを貸し出し頂いたシーホネンス株式会社さんも出展しています。

「障害者ワークフェア 2010 見学」

期間：2010年10月15日（金）～16日（土）

場所：横浜アリーナ（メイン会場）、ららぽーと横浜（サテライト会場）

内容：障害者就労支援機器等を見学し、様々な福祉用具の特徴を学ぶ

参考URL <http://www.jeed.or.jp/activity/festa/workfair2010.html>

研修費：見学開始時間から最大2時間までの研修費と交通費をお支払いします。研修受付と感想文用紙の記入についての確認があるので、必ず事前に研修担当の木村までご連絡下さい。

映画を観て学ぼう！（チケット残につき、継続募集中！）

「あした天気になる？発達しょうがいのある人たちの生活記録」（映画）

日時：2010年10月25日（月）下記4回85分上映予定

（日）開場 10:30～、上映 11:00～12:25 （月）開場 13:30～、上映 14:00～15:25

（火）開場 15:30～、上映 16:00～17:25 （水）開場 18:30～、上映 19:00～20:25

場所：町田市民フォーラム

内容：オフィシャルサイト（下記URL）をご覧ください。

http://www.peace-create.bz-office.net/ashitatenkininaru_index.htm

主催：町田市障がい者福祉懇談会

募集人数：先着30名（PAM研修担当木村までご連絡下さい）

申し込み：チケット手配の都合上、9月中旬までにお申し込み下さい（チケット会社負担）。また突然のキャンセルや遅刻のないよう日時調整をお願いします。

2010年度は、利用者さんもヘルパーと一緒に学べるテーマも準備中です。

「緊急時の対応方法」：利用者さんが急に倒れたら、、、あなたは緊急対応できますか？

「感染症の予防と蔓延の防止」：関係者全員に正しい知識がないと予防と蔓延の防止になりません。

「非常災害時の対策」：最初の3日間は行政支援がないので自給自足が必要です。準備はお済みですか？

2010年度研修に向けて

ヘルパーの皆さんが特定加算事業所として必須要件である年1回以上の研修に参加頂けるよう工夫をしていきたいと思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。

(現段階での研修事業案)

(特) サービス提供責任者研修：特定加算事業所運営に必要な知識・技術を習得する（年2回開催予定）

(監) ヘルパー現任研修：利用者さん支援にあたり、必要な知識・技術を習得する（年12回開催予定）

ヘルパーの皆さんは、下記のパターンのいずれかで年1回以上受講下さい。

(日)内部研修（年12回）：従来通り、皆さんのご要望を参考に企画していきます

(月)外部研修（随時案内）：2010年度は積極的に取り入れていきます

(火)個別企画研修（新）：皆さんが受講したい外部研修をPAMとして認定していきます

（研修参加費、年間の支給上限額、書類の受け渡し方法等については後日ご案内します）

(水)レポート研修：テーマについては、学生の皆さんと相談して決めていきます

(木)来所研修：事前に来所する日時調整の上、過去の研修資料から学びます

PAM 研修通信と研修に関するお問い合わせ先

パーソナルアシスタント町田 （ <http://www.pa-machida.co.jp/> ）

194-0013 町田市原町田 4-18-6 マーブルパレス 102

TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142 Mail：pam@pa-machida.co.jp（事務所）

kimura@pa-machida.co.jp（研修担当：木村有孝）

* ここ最近入社した方は、過去のバックナンバーをホームページでご確認下さい。